

報道各社 様

| | |
|-------------|----------------------------------|
| 令和8年1月20日 | |
| 問い合わせ先 | |
| 四日市市立富洲原中学校 | |
| 担当者 | 教頭 |
| 電 話 | 059-365-4158 |
| Eメール | tomisuhara-j-all@yokkaichi.ed.jp |

日本科学技術振興財団との連携による放射線の授業実施 ～観察実験を通じた放射線の科学的理解～

記

1. 開催日時 令和8年1月23日（金）

1年A組 第1時（3限目）10:50～11:40・第2時（4限目）11:50～12:40

1年B組 第1時（5限目）13:30～14:20・第2時（6限目）14:30～15:20

※1年A組と1年B組の授業内容は同じです。

2. 開催場所 四日市市立富洲原中学校 2階 1年生各教室 (四日市市天力須賀5丁目3-10)

3. 取り組み概要

公益財団法人日本科学技術振興財団による放射線教育の一環として、東京大学環境安全本部協力研究員の若林昌吾先生（千葉県君津市立周西中学校理科教員、千葉県長期研修生）に来校いただき、1年生67名への授業を行います。

第1時では、放射線の基礎知識について、霧箱を用いて放射線の飛跡を観察し、放射線に関する科学的理解を目指します。（モナズ石とラドンガスの観察）

第2時では、放射線の人体影響について、放射線を用いないモデル実験（疑似体験）等により、放射線や様々な要因が細胞に与える影響や、それに対する修復機能、異常修復（がん化のリスク）の仕組みの理解を目指します。

4. 参加者 富洲原中学校1年生67人

5. 趣 旨

本校ではゲストティーチャーによる授業を積極的に実施しています。今回の授業で用いる教材は、若林昌吾先生が、元帝京大学診療放射線学科教授・鈴木崇彦氏、東京大学環境安全本部教授・飯本武志氏の指導を受けて作成されています。

この授業を通して、生徒が放射線に関する科学的理解を深め、今後の探究学習や平和学習に役立てることが期待できます。

以上